

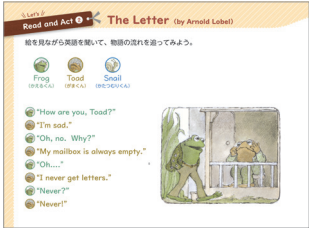


特設サイトはこちら

ONE WORLD Smiles 5 6 検討の観点と内容の特色

1. 内容の取扱い	
検討の観点	内容の特色
教育基本法との関連	● 教育基本法第2条(第1号～第5号)を踏まえ、教材の選定・開発をしました。【2学年/全体】 - 第1号 言語や文化についての幅広い知識と教養、真理を求める態度、豊かな情操と道徳心への配慮。[例：5年Lesson 7 [レストランでの丁寧な言葉づかいによる注文のやり取り]、6年Let's Read and Act 2 The Letter [かえるくんとがまくんの友情物語] 等] - 第2号 個人の価値尊重と創造性、自主・自律の精神と勤労を重んじる態度の育成。[例：5年Lesson 5 [「できること」をワークシートに書き発表する]、6年Lesson 1 [This is me! シートを作って自己紹介をする]、6年Lesson 7 [将来就きたい職業を発表する] 等] - 第3号 正義と責任、自他の敬愛と協力の尊重、主体的な社会参画。[例:5年Lesson 8 [道案内をする活動]、6年Lesson 2 [自分の町のお勧めの場所を紹介する活動] 等] - 第4号 生命の尊重と環境の保全への寄与。[例：5年Lesson 6、6年Lesson 5 [日本全国または世界各地の「名所・名物マップ」]に示されている世界自然遺産や希少動物等を参考にしつつ、行ってみたい場所やおすすめの場所を伝え合う]、6年Let's Look at the World 2 [世界の希少動物] 等] - 第5号 伝統や文化の尊重と国際理解への寄与。[例：5年Let's Look at the World 1 [外国の学校の様子を知り、自分たちの学校との違いや共通点を知る]、6年Lesson 3 [好きな日本文化を紹介するポスターを作って発表する] 等]
学習指導要領に示された教科の目標を達成するための配慮	● 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の5つの領域別に設定された目標をそれぞれ達成できるように内容を選択・配列しました。また、実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動を豊富に配置し、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成」できるように内容も選択・配列しました。【2学年/全体】 ● 資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を総合的に育成できるよう、さまざまな言語活動を盛り込み、児童一人一人の「生きる力」の育成に寄与し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫しました。【2学年/全体】
自主的・自発的な学習への支援	● 教科書への導入として、1年間の学びの見通しをもち、英語学習や英語を通じたコミュニケーションへの期待と意欲を高められるようにするコーナーを設けました。【2学年/巻頭 Welcome to ONE WORLD Smiles 5/6】 ● 1年間の学習目標を明確に示したうえで、「あなたが英語でできるようになりたいことを書いてみよう」の欄に自由に書き込ませることにより、児童一人一人の学習意欲を喚起する仕組みを設けました。【2学年/p.5 〇年生の英語の学習が始まるよ】 ● Lessonの冒頭で単元の目標を確認させることにより、当該Lessonの学習が終わった時点でできるようになっていた姿をあらかじめイメージし、それを意識しつつ授業に臨み、最後に自己評価ができるように工夫しました。「Lesson〇をふりかえろう」では、評価の3つの観点と対応した振り返り項目を示し、児童自身が評価できるようにしました。【2学年/各Lesson】 ● Lessonの自己表現活動に役立つ語彙を巻末に掲載し、必要に応じて参照できるように構成しました。【2学年/My Word Bank】 ● 発展的に、辞書の使い方についても扱い、自分が知りたい・表現したいことについて自発的な学習に取り組めるように構成しました。【6年/p.99 知らない英語の言葉に出会ったら】
2. 内容の程度	
検討の観点	内容の特色
3・4年生での外国語活動との接続	● 3・4年生の外国語活動で行われてきた音声面中心のコミュニケーション活動について、振り返りができるようにしました。「聞く」「話す」活動の中でふれてきた語句・アルファベットを、「学校、スーパーマーケット、森」をテーマとした各場面にちりばめ、5・6年生で学ぶ言語材料を導入する前の振り返りの場として整理しました。【5年/pp.6-11】
児童の発達段階に適合した内容	● 2学年を通して、言語材料・言語活動・題材のそれぞれについて、発達段階に適合した内容を選択し、配列しました。【2学年/全体】 ● 各Lessonの題材内容については、児童の発達の段階、興味・関心に十分に配慮しました。クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと、学年や単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていくように構成しました。【2学年/全体】

言語材料の取り上げ方	● 言語材料は、基本的な「音声」、「文字及び符号」、「語、連語及び慣用表現」、「文字及び文構造」を丁寧に取り上げ、5・6年生の学習の進度や言語活動との関連を踏まえて、バランスよく、段階的に配置しました。語、連語及び慣用表現については、自己表現活動に使えるように、小学生にとって身近なものを選定しました。【2学年/全体】
言語活動の選択	● 「知識及び技能」を活用して「思考力、判断力、表現力等」を身につけるための具体的な言語活動となるよう、児童自身の興味・関心や経験等を発信できるように適切に選択しました。【2学年/各Lesson Final Activity】 ● 言語能力向上の観点から、言葉の仕組みの理解を促せるように活動を設定しました。【2学年/Sounds and Letters】
児童の興味・関心に即した題材内容	● 主体的な学びを促進し、対話的な学びへと導くため、児童の興味・関心に合った題材を扱い、題材に即した言語活動を設定しました。【2学年/全体】 ● 児童が活動やコラムを通して世界の子どもたちの生活の様子にふれ、異文化に関心を広げたり、世界との一体感を感じたりしながら、英語学習への意欲を高められるようにしました。【2学年/World of Smiles、Let's Look at the World】
他教科、道徳等との関連	● 国語科、社会科、家庭科、道徳、プログラミング教育、キャリア教育などとの関連を図りました。 ● ローマ字は、実社会との関連からヘボン式を扱っていますが、巻末の「ローマ字表」では、3年生の国語で扱った訓令式での表記も併記しており、安心して活動に取り組めるように配慮しました。【5年/p.116、6年/p.108】 ● 国語低学年の定番教材『おてがみ』をもとにした教材を原作のイラストとともに掲載し、物語を英語で読む活動を設けました。豊かな情操と道徳心を培います。【6年/Let's Read and Act 2】 ● 5年では「Welcome to Japan 名所・名物マップ」を使って行きたい都道府県を紹介したり、地図記号を扱ったり、6年では自分の町や日本の行事を紹介したり、「Dream World Tour 名所・名物マップ」を使い世界の国を紹介したりするなど、社会科の学習との関連があります。【5年/Lesson 6、8、6年/Lesson 2、3、5】 ● お勧めのオリジナルメニュー作りや世界の料理を題材とする等、家庭科との関連があります。【5年/Lesson 7】 ● 道徳の観点から、日本の行事や文化を扱い、伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する態度を育めるように配慮しました。【5年/Lesson 6、6年/Lesson 3】 ● 道徳の低学年の定番教材『はしのうえのおおかみ』や『およねいりすさん』を漫画にし、イラストとともに英語で掲載して、物語を英語で聞く活動を設けました。【5年/p.86、6年/p.40】 ● プログラミング教育につながるように、キーボードを掲載し、アルファベットの音を聞いて、そのアルファベットのキーをタッチする活動を配置しました。【5年/p.17】 ● さまざまな職業の人物や将来の夢について扱い、キャリア教育につながる内容を含めて構成しました。【5年/Lesson 2、3、5、9、6年/Lesson 7】 ● 自己紹介、クラスの誕生日カレンダー作りといった、学級作りとも連携を図れる活動を配置しました。【5年/Lesson 1、2、6年/Lesson 1】 ● 学校や教室のルール、避難訓練の際の合い言葉等、道徳や保健衛生、防災等の観点を含む内容を配置しました。【5年/pp.4-5、40、6年/pp.4-5】 ● 児童一人一人が自己表現したワークシートを発表したり、自分たちの町の観光マップや世界旅行のツアーパンフレットを作ったり、クラスの思い出アルバムを作ったりするなど、グループやクラスで一つの制作物を完成させる活動を設け、クラスの一体感につなげる等、学級経営においてもプラスとなるように配慮しました。【5年/Lesson 5、7、9、6年/各Lesson】
発展的な学習内容	● 6年生のLet's Read and Act 2に掲載されている英文には、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれます。登場人物の気持ちを想像しながら物語を味わったり演じたりするための教材であり、英文の掲載は有効です。【6年/p.67】 ● 6年生の「知らない英語の言葉に出会ったら」には、小学校学習指導要領で示された以外の辞書の使い方が含まれます。自らの考えや気持ちを伝えるうえで必要とする語彙や表現を調べるために役立つ教材であり、和英辞典の使い方の掲載は有効です。【6年/p.99】 ● 巻末のLet's Enjoy the Musicに掲載されている歌詞には、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれます。楽曲を聴きながら歌のもつメッセージを鑑賞するための教材であり、英語の歌詞の掲載は有効です。【5年/p.114、6年/p.106】



6年 Let's Read and Act 2



6年 Lesson 3



5年 Lesson 5

中学校との接続	6年Lesson 4の活動や学年後半のLesson 6～8の単元末に、文法用語を使わずに、学んできた要素を組み合わせ、文構造への気づきを促す活動を配置しました。【6年/p.46、77、87、97】 6年最後の単元Lesson 8に、これまで学んだことを使って、自分のことについて書く活動を配置しました。最後の評価に役立つだけでなく、児童が中学校での自己紹介の授業にも活用できるようにしました。【6年/p.95、巻末ワークシート「My Bookをつくろう」】
SDGsへの取り組み	現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、児童一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、SDGsに関する意識を高めるように工夫しました。【2学年/全体】
人権教育	人権教育の専門家による校閲を受け、人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダー平等についても理解が深められるように配慮しています。【2学年/全体】
カリキュラム・マネジメントと短時間学習	教科横断的な要素を多く取り扱いました。カリキュラム・マネジメントの観点からも有効です。【2学年/全体】 - Let's SingやLet's Say It Together、Let's Listen、Sounds and Letters、Review等、通常の45分授業と内容的な関連性をもたせながら、10～15分程度で終わられる活動を設け、短時間学習にも配慮しました。【2学年/各Lesson】
学級担任による授業	- Lessonの冒頭に単元目標を明示し、単元末に児童の振り返りの機会を設け、指導・評価のポイントをイメージしやすくしました。【2学年/各Lesson】 - 教科書準拠の教師用指導書、指導者用デジタル教科書（教材）の内容を充実させ、これらに音声や映像を用意することにより、学級担任一人での指導が安心して行えるようにしました。【2学年/全体】
ICT活用	ウェブサイト「まなびリンク」を設け、紙面上の二次元コードを通じ、音声や動画、ワークシートなどの良質なデジタルコンテンツを活用できるようにし、学習への意欲を高め、学びを活性化して確かなものにするように配慮しました。【2学年/全体】

3. 組織・配列

検討の観点	内容の特色
内容の組織・配列	- Lessonの冒頭に単元目標を示し、「外国語を使って何をするのか」を明確にし、単元末で目標に関連したやり取りや発表をする構成にしました。学習の見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識しつつ、Lesson内の各活動を進めていけるように工夫しました。【2学年/各Lesson】 - Lessonは、映像を見ながら「聞くこと」を通した豊富なインプットから始め、音声のみでの「聞くこと」、歌やリズムに合わせた口慣らしを通して表現に慣れ親しむこと、学んだ表現を使った簡単な「やり取り」を経て、最終活動で「話すこと[やり取り・発表]」というアウトプットへと展開する構成にしました。5年生のLesson 5、6、9、6年生の各Lessonでは、伝えたい内容の表現例を「読むこと」から自分自身が伝えたい内容を「書くこと」に取り組める構成にしました。【2学年/各Lesson】
言語材料の組織・配列	言語材料は、常に言語活動と効果的に関連付けて扱い、獲得した知識や技能を実際のコミュニケーションで活用できるように構成しました。音声と文字、語、連語、慣用表現をバランスよく取り上げ、繰り返し使用する場面を設けることで、定着を図れるように工夫しました。【2学年/全体】
言語活動の組織・配列	文構造や基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動を、段階を踏んで配列しました。各Lessonは、聞くことから始め、発話してみるやり取りを経て、適宜、書いて整理したうえで、やり取り・発表をする構成にしました。【2学年/全体】

4. 分量

検討の観点	内容の特色
扱う語数	- 学習指導要領の「600～700語程度」と、学習指導要領解説の「発信語彙と受容語彙の両方を含んだ語彙サイズ」に適合する語数を扱いました。教科書に掲載されている語数は、3・4年生でふれてきたと想定される語及び巻末のMy Word Bankを含め、5年で472語、6年で196語、計668語です。【2学年/全体】 - My Word Bankは、児童にとって身近な語彙を精選し、積極的な自己表現に寄与できるように構成しました。【5年/p.108-113、6年/pp.100-105】

各内容の分量の配分	全体として、分量は学習・指導上で無理がないように精選し、単元に合わせて効果的に調整しました。【2学年/全体】
付録	付録として、豊富な内容を用意しました。ローマ字表のほか、自己表現活動で利用できる語彙の補充のため、My Word Bankを設けています。また、活動用のシール、絵カード、ワークシート、アルファベット表を収録しました。【5年/pp.108-113、116、巻末、6年/pp.100-105、108、巻末】
全体の分量	指導時数のめやすとして、各Lessonは7時間配当を基本とし、習得した内容を活用させる時間を十分に考慮したうえで5年は67時間、6年は62時間にしました。年間指導時数の70時間内で余裕をもって指導できます。【2学年/全体】

5. コミュニケーション

検討の観点	内容の特色
言語の使用場面・言語の働き	学校や家庭生活といった「児童の身近な暮らしに関わる場面」を中心としつつ、「特有の表現が使われる場面」〔例：5年Lesson 7〔レストランでの注文〕、Lesson 8〔道案内〕等〕をバランスよく設定し、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるようにしました。【2学年/全体】
4技能・5領域のバランスや統合	2学年を通して「聞くこと」「話すこと[やり取り・発表]」を中心に、段階的に「読むこと」「書くこと」を学べるよう配列しました。「読むこと」「書くこと」について、5年生では慣れ親しませることから始め、段階的に文字を読んだり書いたりすることができるように配列しました。6年生では、単元が進むにつれて少しずつ「読む」「書く」英文の数が増えるように配慮し、系統性のある指導ができるように配列しました。【2学年/全体】 - Lessonは、4技能・5領域が有機的につながった学習を展開することができるように配慮しました。【2学年/各Lesson】
ペア・ワーク、グループ・ワーク	Lesson内にペアやグループで協力し合いながら取り組むActivityやFinal Activityを設け、実際にコミュニケーション活動をする機会を豊富に取り入れ、よりよくコミュニケーションを取ろうとする姿勢を育成できるように配慮しました。【2学年/各Lesson】

6. さまざまな配慮／印刷・造本

検討の観点	内容の特色
ユニバーサルデザインへの対応	- 全てのの人にとっての学びやすさを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しています。【2学年/全体】 - 紙面全体、文字や図版については、「カラーユニバーサルデザイン」の観点にも立って、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど色覚の個人差を問わず、より多くの人が見やすくなるように配慮しています。【2学年/全体】 - 紙面でもデジタル画面でも見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。【2学年/全体】
活字の書体、4線等の扱い	- 英語、日本語とも、書体は読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。【2学年/全体】 書くときのアルファベットに近い形状の書体を使用しました。4線の上下幅の比率は、4：5：4とし、書く練習もしやすいように配慮しました。【2学年/全体】
特別支援教育	特別支援教育の専門家による校閲を受け、シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容がわかりやすくなるように配慮しました。また、紙面の中の視線の移動や各要素の縦横の混在についても、混乱を生じさせないように配慮しました。【2学年/全体】
挿絵・図版・写真等	- 児童の学習意欲を高めるもの、音声や英文の内容の理解を助けるものや、作品世界を生かし、児童の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載しました。【2学年/全体】 学習活動の様子をわかりやすく示したもの等のほか、学習上必要なものを適所に取り上げました。【2学年/各Lesson】
造本・印刷	- 表紙には、抗菌加工をしています。 美しいカラー印刷で、鮮明です。用紙には軽量の再生紙を、印刷には植物油インキを使用し、地球環境に配慮しました。 - 製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられるものにしました。